

## 経済産業省表敬訪問報告

平成26年8月19日(火曜日)

提出書類：(1) リサイクル化証明書 (2) 日資連再生資源回収事業者認定制度リーフレット

内 容：(1) リサイクル推進課長交代に伴う挨拶および名刺交換 (2) 業界および日資連状況の報告

日 時：平成26年8月19日(火)

16時00分～16時45分

場 所：「経済産業省 別館会議室」

東京都千代田区霞が関1-3-1

出席者：

経済産業省産業技術環境局 リサイクル推進課

深瀬聡之 課長

酒井崇行 課長補佐 総括担当

日 資 連 飯田俊夫 会長

片岡繁 専務理事

草間貴明 事務局長 《報告者》

日資連から業界及び日  
資連状況報告

①日資連全国組織となったが、まだ情報伝達や意思疎通などの面で弱い部分がある。

②各地域で行政対応の組合事業を行っている。随意契約から入札への移行。入札価格問題、持ち去り問題が顕在化している。

③組合運営は財政の基盤が賦課金という弱い面がある。

④リサイクル化証明書、日資連再生資源回収事業者認定制度を事業の柱としているが普及が進まない。認定者が会員総数の半数にも至らない状況でお願いするのも恥ずかしいがリサイクル化証明書

に経済産業省の“推奨”“推薦”といったお墨付きが欲しい。

⑤認定制度は、3年ごとの更新を行っているが、その際に経済産業省の講習会を更新基準に盛り込みたいと思うがいかがか。

⑥ペットボトル等、廃プラが有価で取引されている現状。専ら物として認

められるのではないか。

⑦小電法で回収技能・知識を有する者との選定基準があるが、その基準の一つを日資連事業とした旨を以前お願いした。可能性はあるか。

⑧リサイクル、資源関連の審議会、会議等を行う際には、日資連の参加をお願いしたい。



深瀬聡之 課長

飯田俊夫会長

片岡繁専務理事

## 深瀬課長からの助言等

リサイクル化証明書の推薦や認定制度の講習会制度等については、どこまで協力できるか省内での検討が必要で即答はできないが出来るだけ力になりたいと思っている。廃プラ等は、経済原則の中でうまく回していきたいと思うが法律的にも難しいと思うし今後の国際状況を見定める必要がある。

持ち去り問題の本質について教えて欲しい。また、資源物の輸出についてどうとらえているのか。

「あ～す・れっく」及び「速報あ～す・れっく」はホームページから閲覧・ダウンロードできます。